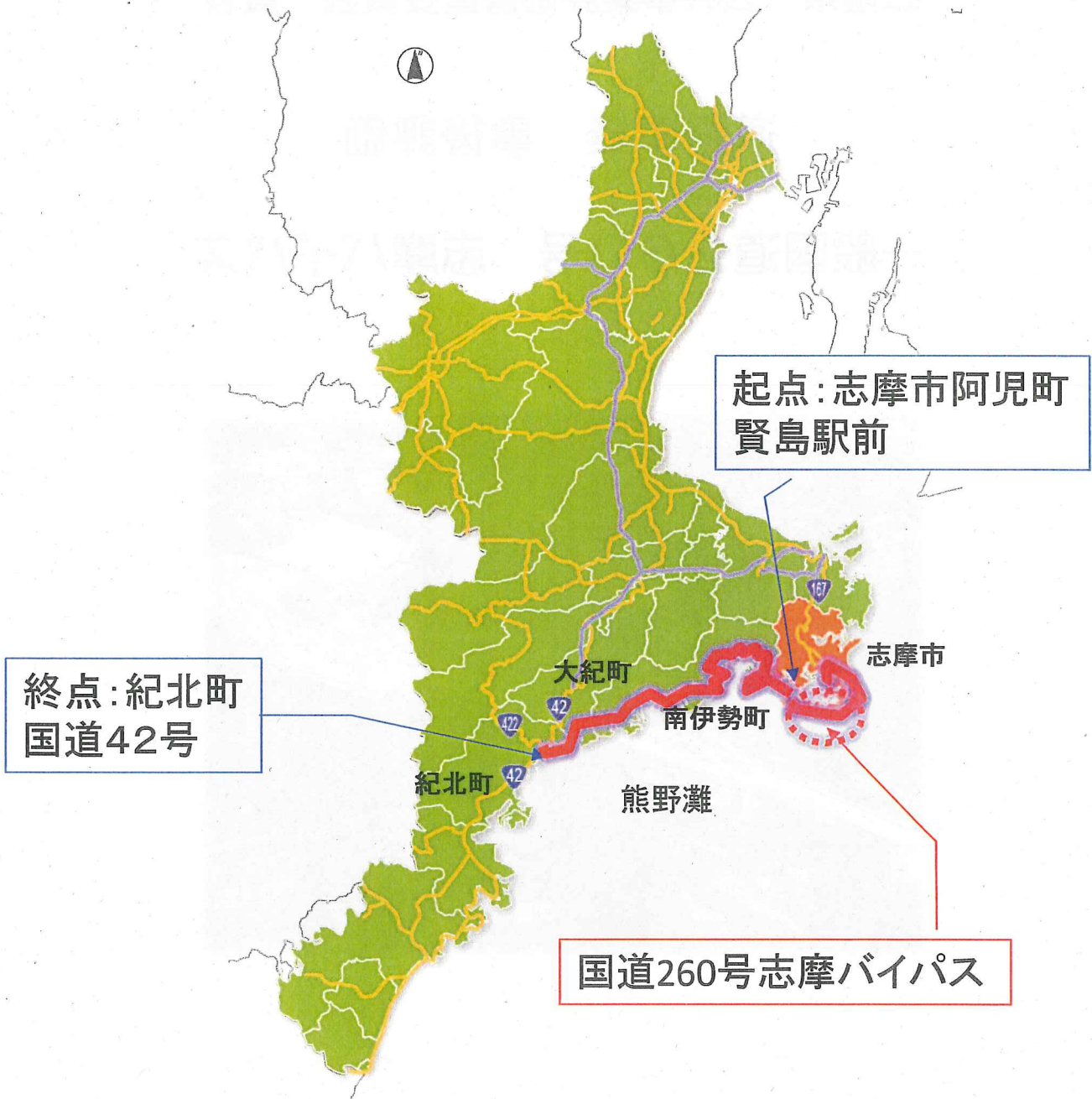


## 事後評価書

箇所名	一般国道 260 号(志摩バイパス)		事業名	道路事業	課名	道路建設課 (志摩建設事務所)										
事業概要	工期 (下段前回)	S63 年度 ~ H21 年度	全体事業費 (下段前回)	11,339 百万円 (負担率 : 国 5.5 : 県 4.5)												
		S63 年度 ~ H20 年度		11,700 百万円 (負担率 : 国 5.5 : 県 4.5)												
事業目的及び内容		<p>■当該路線の状況 一般国道 260 号は、三重県志摩市阿児町を起点として、同県北牟婁郡紀北町に至る実延長約 122km の幹線道路です。このうち、志摩市志摩町においては東西の唯一の幹線道路ですが、未改良の幅員狭小区間が多く、生活交通と観光目的の交通が混在しており安全で円滑な通行に支障をきたしていました。</p> <p>■事業の目的 当該バイパス事業の実施により、志摩市志摩町内での安全で円滑な交通を確保するとともに、防災面の強化を図ります。</p> <p>■事業の内容 事業期間 22 年間 (昭和 63 年度～平成 21 年度) 総事業費 11,339 百万円 (工事費 : 8,918 百万円、用地補償費 : 2,421 百万円) 事業延長 L=5,437m (起点) 志摩市志摩町布施田～(終点) 志摩市志摩町御座 幅員 W=6.5 (13.5) m 主要構造物 志摩大橋 (L=582m)</p>														
1・事業効果																
1-1 費用対効果分析		<p>・費用対効果を分析した結果</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">走行時間短縮便益</td> <td style="text-align: right;">193.3 億円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">走行経費減少便益</td> <td style="text-align: right;">26.7 億円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">交通事故減少便益</td> <td style="text-align: right;">5.3 億円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">総便益</td> <td style="text-align: right;">225.3 億円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">総費用</td> <td style="text-align: right;">166.7 億円</td> </tr> </table> <p>費用便益比は、1.4 となります。</p>					走行時間短縮便益	193.3 億円	走行経費減少便益	26.7 億円	交通事故減少便益	5.3 億円	総便益	225.3 億円	総費用	166.7 億円
走行時間短縮便益	193.3 億円															
走行経費減少便益	26.7 億円															
交通事故減少便益	5.3 億円															
総便益	225.3 億円															
総費用	166.7 億円															
1-2 費用対効果の検証		<p>・走行時間短縮便益の検証 志摩バイパスの全線供用により御座～布施田間の所要時間が約 10 分短縮されました。(旧道利用 : 約 17 分→バイパス利用約 7 分)</p> <p>・走行経費減少便益の検証 旧道と志摩バイパスを比較すると、志摩バイパス利用時の走行距離が最短となります。(御座～布施田間で 8.0km→5.4km)</p> <p>・交通事故減少便益の検証 志摩バイパス整備以降、交通事故が減少傾向にあります。(供用開始前 9.2 件/年→全線供用開始 5.0 件/年)</p>														
1-3 その他の効果		<p>■防災面に関する効果</p> <p>・緊急輸送道路網の強化 志摩バイパスが第 2 次及び第 3 次の緊急輸送道路に指定され、災害時の輸送道路ネットワークがより強固なものとなりました。</p>														

<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次救急医療施設へのアクセス向上 志摩市には、二次救急医療施設に指定されている三重県立志摩病院があり、志摩バイパスの整備により、病院へのアクセスが向上し、病院への到達時間が10分程度早くなります。</li> </ul> <p>■地域の活性化に関する効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な観光地へのアクセス向上 所要時間が短縮されたことから、志摩町内の主要な観光地へのアクセスが向上し、阿津里浜でのオートキャンプ場の整備や御座白浜海水浴場での駐車場整備など観光地の整備も行われました。</li> <li>・道路整備を契機とした地域コミュニティの醸成やイベントの開催 志摩バイパスの供用開始に合わせ、地域住民が国道260号およびバイパスを活用したイベントの開催や清掃などの環境整備を目的とした各種活動を定期的に行なっており、地域コミュニティの活性化に寄与しています。</li> </ul>	
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光での利用が多い道路であり、観光客が目的地までの風景を楽しめるよう景観に配慮した橋梁を整備しました。</li> <li>・国立公園に指定されるような風光明媚な地域であるため、法面を緑化や植樹帯の整備などで、周辺環境に配慮しました。</li> </ul>	
3・事業を巡る社会経済情勢等の変化	
<p>■津波への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災を契機として、沿岸部における津波への対応が強く求められており、本路線は、旧道が熊野灘に面し、比較的低位部を通過するのに対し、バイパスは英虞湾側の高台を通過することから、防災の観点からも志摩バイパスの重要性は高まっています。</li> </ul>	
4・県民の意見	
<p>観光客及び沿道住民を対象にアンケート調査を実施しました。</p> <p>■観光客の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査方法：ヒアリング形式</li> <li>・調査数：311票　・有効回答数：311票（回収率100%）</li> <li>・御座白浜海水浴場への来訪者の9割がバイパスを利用し、走りやすさや移動時間の早さが評価され、9割以上が「大変満足」「満足」と回答しています。</li> </ul> <p>■住民の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査方法：アンケート票を各戸に配布（和具・越賀・御座地域）</li> <li>・調査数：2,580票　・有効回答数：1,127票（回収率：44%）</li> <li>・地元住民は、回答者のほぼ半数が毎日利用すると回答し、アクセス性や安心安全面の向上が評価され、8割以上が「大変満足」「満足」と回答しています。</li> </ul>	
5・再評価の経緯	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度の再評価において、事業の妥当性が認められたことから、事業継続が了承されました。</li> </ul>	
6・今後の課題等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民アンケートで、地域の発展や観光への波及効果が十分でないという意見や、志摩市中心部の渋滞対策、伊勢方面へのアクセス向上が求められていることから、伊勢方面、更には名古屋・関西方面を結ぶ広域的な幹線道路ネットワークを強化し、広域的なアクセスの向上を図ります。</li> </ul> <p>《実施中の事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般国道167号（鵜方・磯部バイパス）道路改築事業（事業中/一部供用済）</li> <li>・一般国道167号（第二伊勢道路）道路改築事業（9/14開通）</li> <li>・一般国道167号（磯部バイパス）（平成24年事業採択）</li> </ul>	

# 位置図



# 概要図



①旧道



②バイパス



## 標準断面図

